

リュツォ・ホルム湾の海氷状況

2021年10月

国立極地研究所 南極観測センター

第62次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中や第63次隊夏期の行動計画の参考とするため、衛星画像や昭和基地における目視・気象・潮汐観測によって、「しらせ」航路周辺や基地接岸点付近の海氷状況を監視している。

昨年2020年の主な特徴

- オングル海峡の開水面領域は、4月以降に凍結した。
- 湾中央に及んでいた割れ込み領域は、5月下旬時点で凍結、安定した。
- 9月以降は湾北方で氷縁の一部が割れた他、顕著な変化はなかった。

2021年1月以降の状況

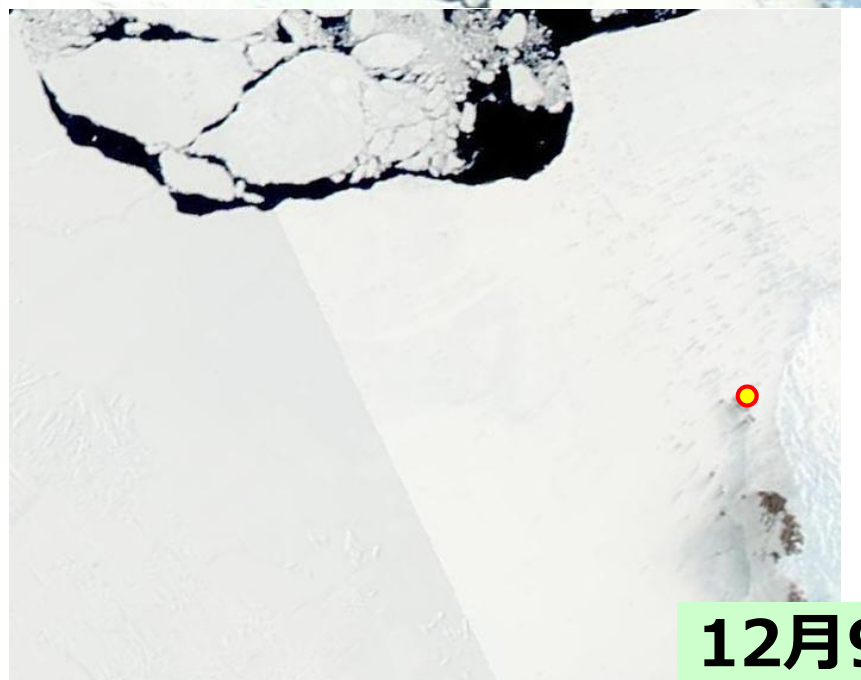
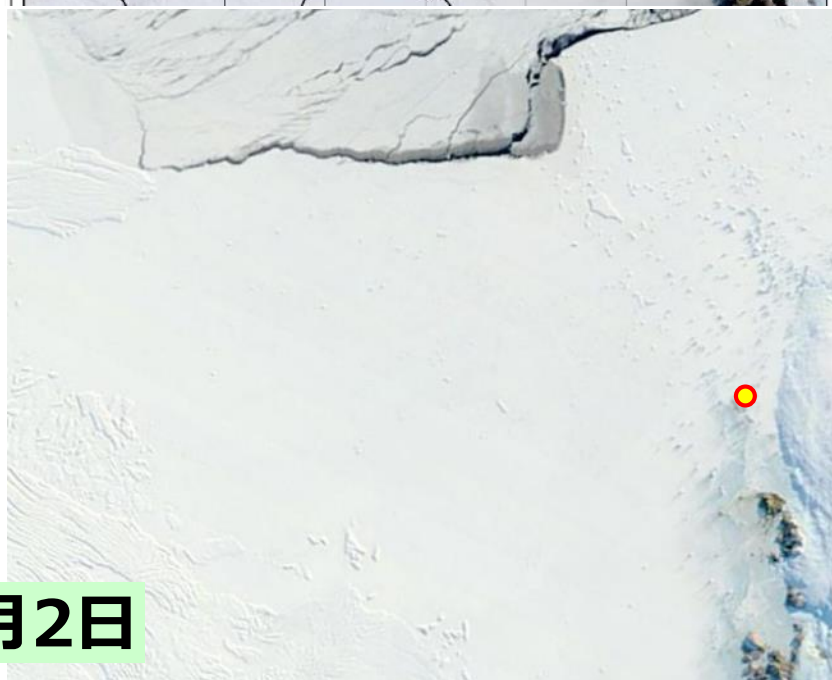
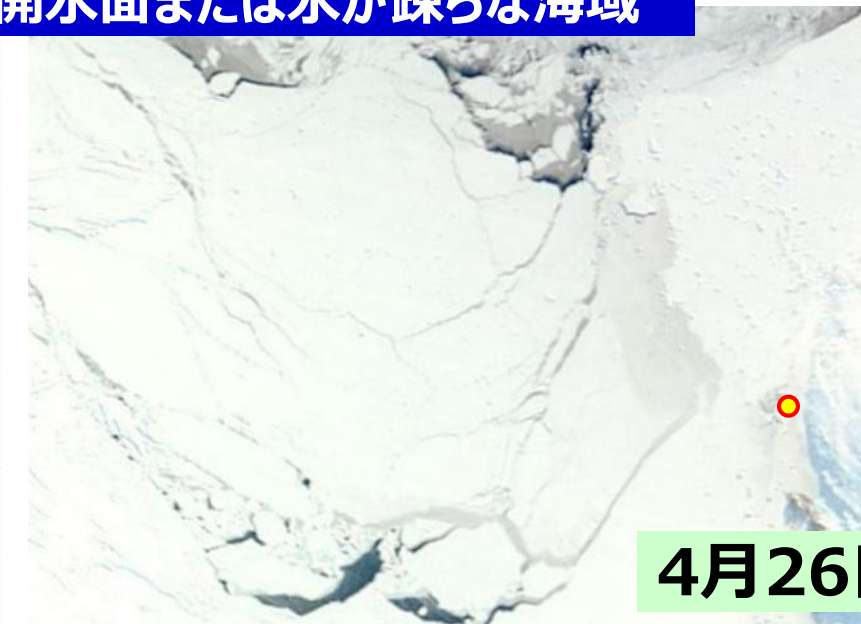
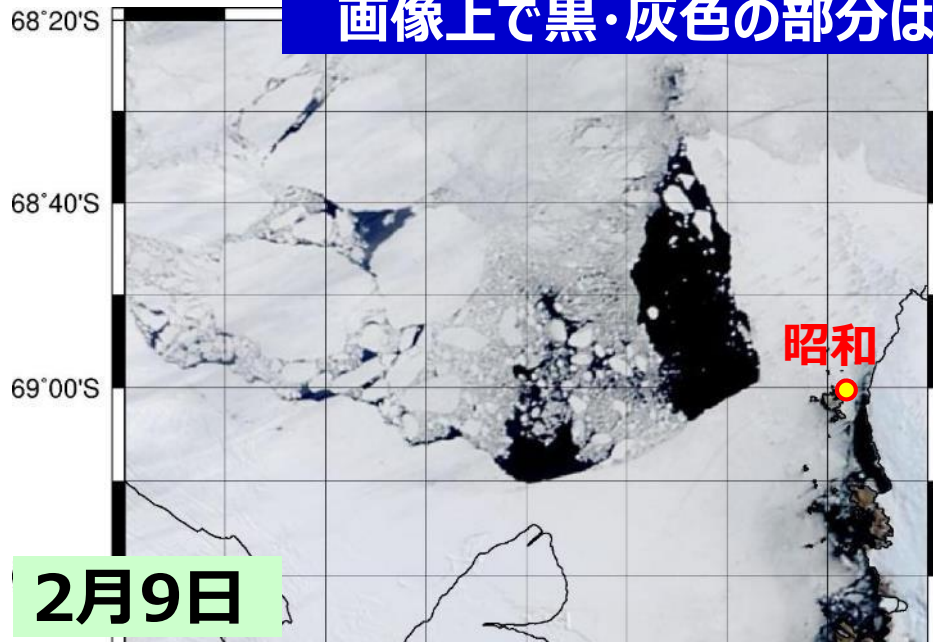
- 海峡および湾中央で、開水面や割れ込み領域は認められていない。
- 海峡の定着氷域は、8月上旬で氷厚約140cm、最大積雪深42cm。
- 湾北方の定着氷縁は、9月下旬時点で68°50'S付近に位置している。

今後の情報共有

- 「しらせ」接岸予定付近の氷状調査を第62次越冬隊へ依頼した。
- 同隊から提供される情報も参考に、氷状監視を継続する。

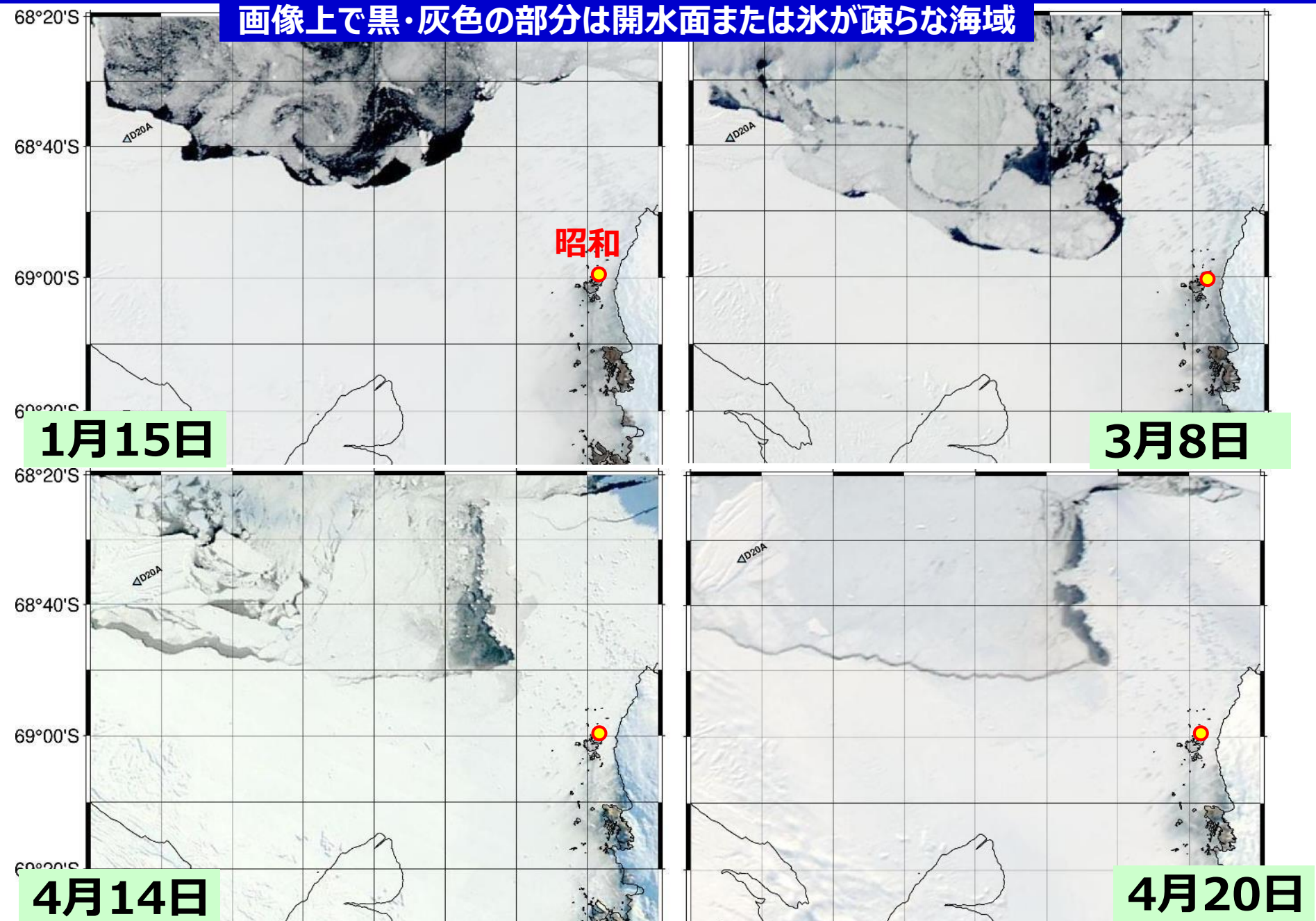
昨年2020年の湾内定着氷の変化（可視画像）

画像上で黒・灰色の部分は開水面または氷が疎らな海域



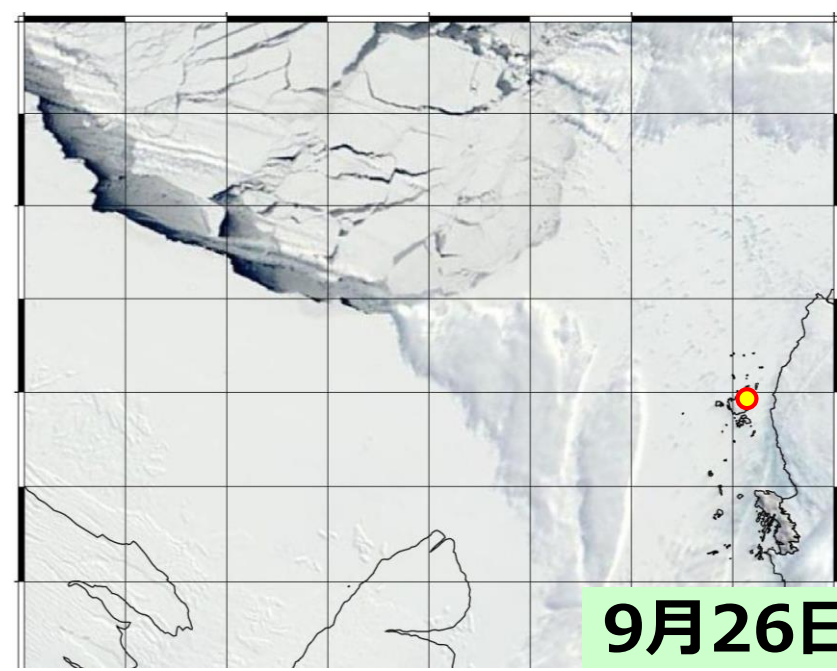
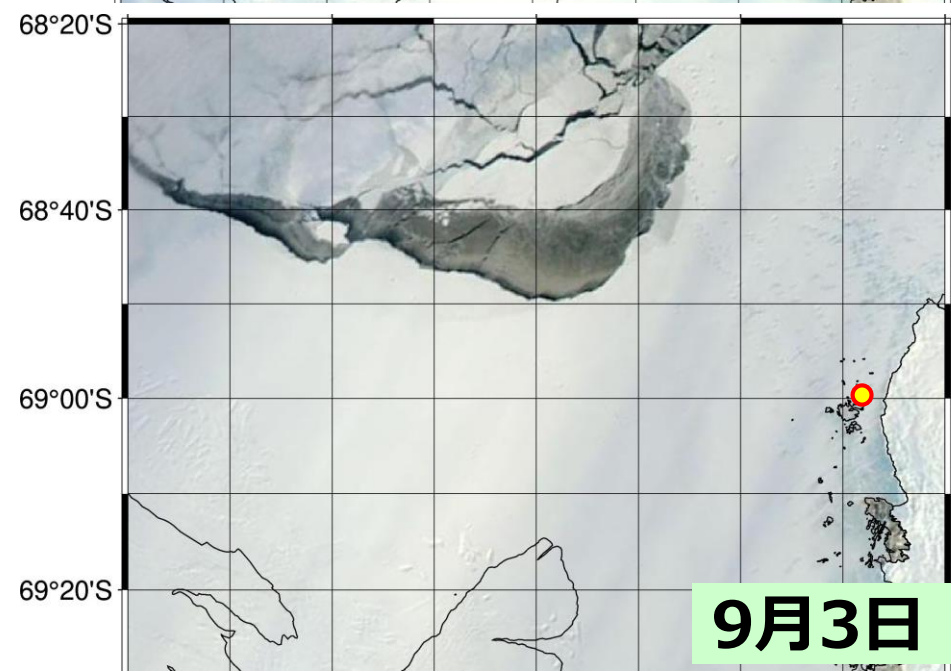
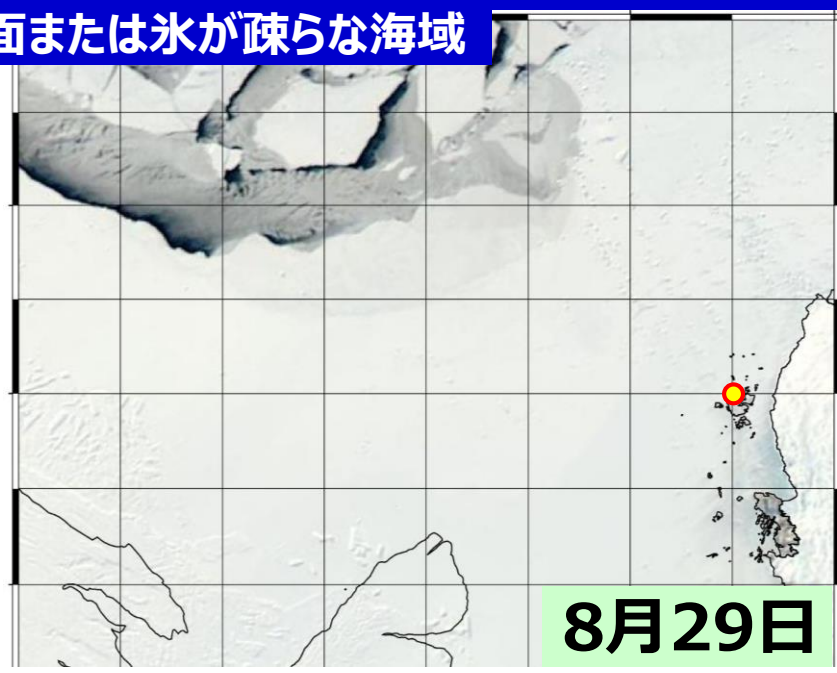
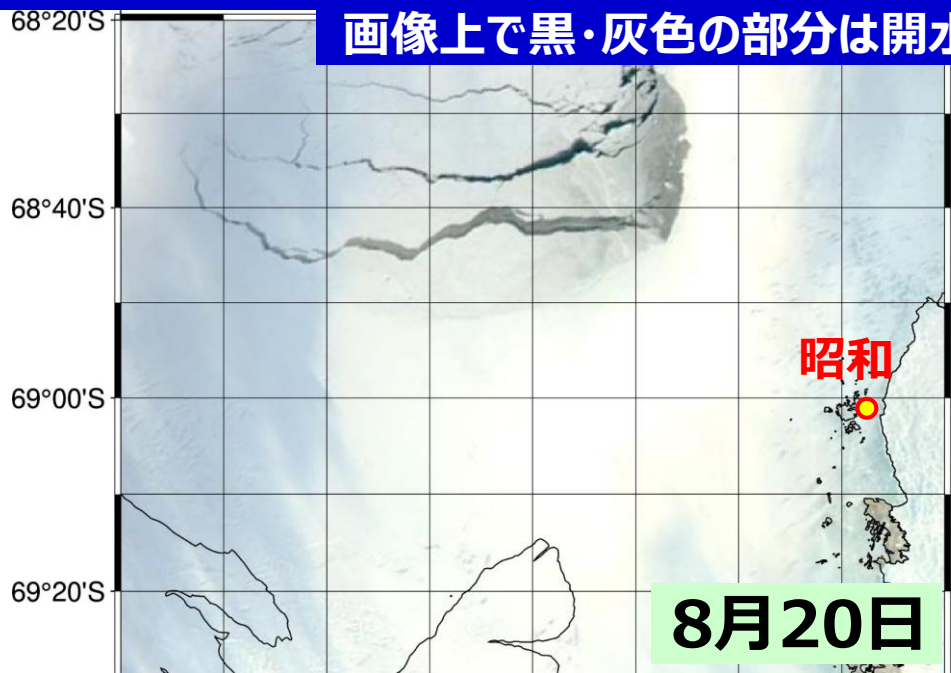
2021年1-4月の湾内定着氷の変化（可視画像）

画像上で黒・灰色の部分は開水面または氷が疎らな海域

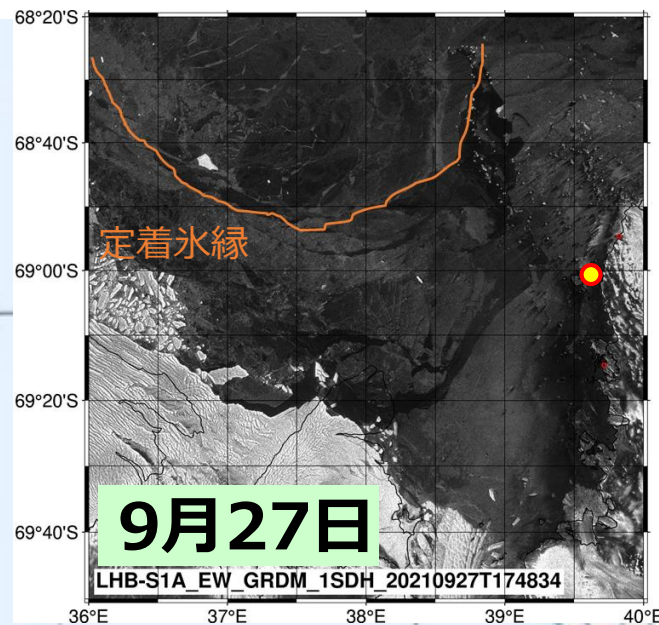
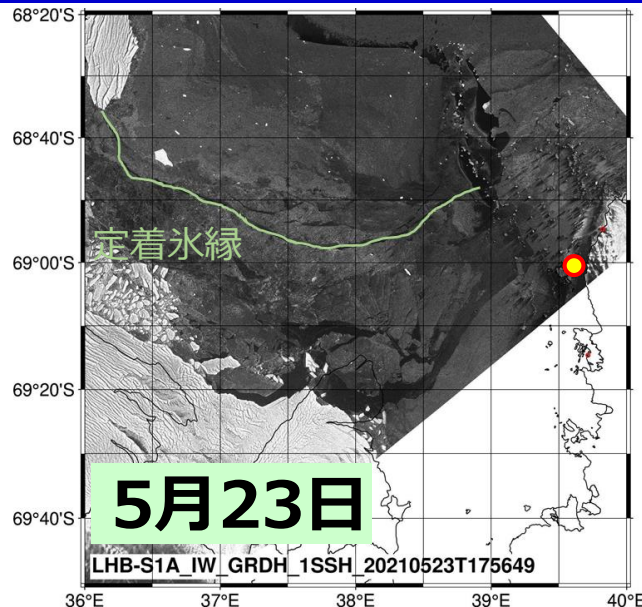
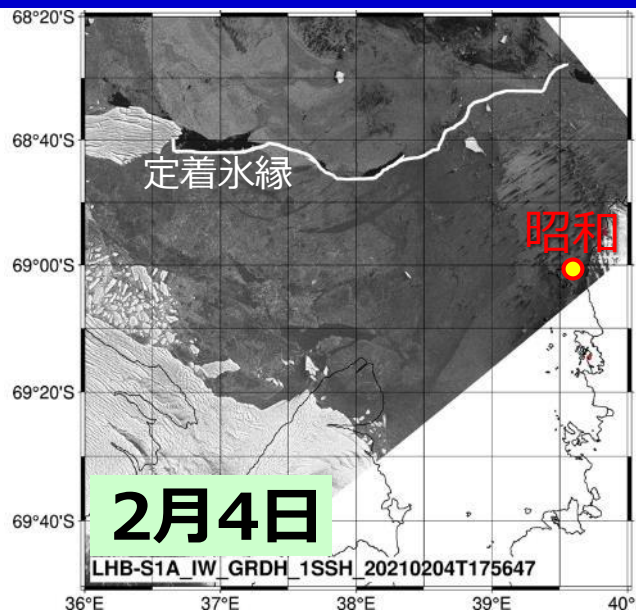


2021年8-9月の湾内定着氷の変化（可視画像）

画像上で黒・灰色の部分は開水面または氷が疎らな海域



2021年2-9月の湾北方定着氷縁 (合成開口レーダー画像)



2021年のオングル海峡の氷厚、積雪深 (4月16日, 8月3日測定値)

